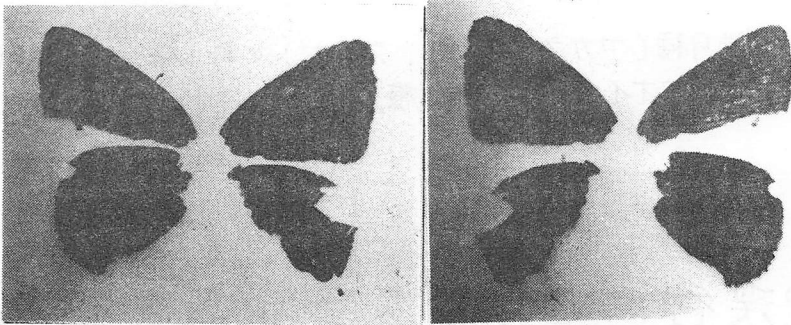


幻のカラスシジミ

足立 義弘



山本勝氏が1982年7月6日に兵庫県美方町でカラスシジミを採集された。調べてみると兵庫県では2頭目の記録になるということであった。ただし1頭目の標本は残っていないようだ。

ところで、山本氏の採集報告を聞いて思い出したのだが、私はかつて聞宮町の杉ヶ沢で1頭のカラスシジミを採集したことがあった。そしてその標本(?)と、データが出て来たのである。簡単にその経緯を報告しておく。

データでは、1975年6月29日杉ヶ沢でカシワの葉上に静止していたものを採集している。標本は少なからず破壊した前後翅4枚のみである(写真)。翅4枚だけというのは、はすかしいことながら展翅中に室内に忍びこんだカマドウマに食べられてしまったからである。当時私は豊岡に住んでおり、幸い残った翅はデータを記入した三角紙に入れ知人にあずけておいた。そしてそのまま現在に至ったわけである。そして今度の山本氏の報告で思い出し、「どこにあるかわからない、諦めろ」という知人に頼み込んで捜してもらったところ、出てきたというわけである。

さて私的なことをくどくど書いてしまったが、この4枚のカラスシジミの翅が事実上の2頭目の記録なのである。しかし4枚の翅だけでは標本、あるいは記録としての価値はないという人もおり、果して幻の2頭目ということになってしまうのだろうか。